

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和4年1月7日



学校だより

1月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

次の成長を信じる

校長 鈴木 彰

新年あけましておめでとうございます。

2022年が皆様にとって幸多い、輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。



新しい年を迎えました。

昨年は、東京2020オリンピック、パラリンピックが開催され、感染症で沈む世界中の人々の心に光を与えました。そして今年、続けて冬季オリンピック・パラリンピックの開催がもう目前となっています。夏季オリ・パラの「1年延期」という異例の対応で、スポーツの祭典に連続して心ふれる機会を得ることができました。

子どもたちは、このチャンスに、スポーツから何を学ぶでしょう。鍛え抜かれた技術や体力、頂点を目指して力と技を磨く努力や強靱な精神力、仲間と力と心を合わせて取り組むチームワーク、ルールやマナーを守ってフェアプレーをするスポーツマンシップ、応援者や指導者への感謝の心…。深い学びは、オリンピック・パラリンピックに携わる人の数、それを見る人の数まで、無限に広がっています。

私は、中学校から大学までの間、バスケットボールとハンドボールに夢中になっていました。その中で、かつてバスケットの神様ともいわれたマイケル・ジョーダンの言葉がずっと心に残っています。6年生に頼まれる卒業アルバムのメッセージとして卒業生にもよく伝えていますが、それは次のような言葉です。

10本連続でシュートをはずしても、ぼくは、ためらわない。

次の1本が成功すれば、それは100本連続で成功する最初の1本目かもしれないだろう。

努力と苦勞を積み重ね、自分の力を信じることができれば、次の成功を信じる希望ももてるかもしれません。

このような希望をもてるのは、スポーツだけではありません。喜劇で有名なチャップリンは、「あなたの最高傑作は？」の質問に「Next one! (次の作品さ!)」と答えたそうです。成長し続ける自分を信じています。

今年も、子どもたちが次の成長にわくわくと胸をふくらませるような学校にしたいと考え、職員一同、心を合わせて児童を育てていきます。